



- ※ R3は補正後予算、R4は当初予算
- ※ H26の累積損益は、会計制度見直しに伴う調整後の額
- ※ 金額は年度ごとに四捨五入

地下鉄事業は、建設に巨額の投資を必要とし、支払利息や減価償却費の資本費の負担が大きいことから、長期的に収支の均衡を図っていく事業です。平成23年度以降、単年度損益は黒字基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減収のため、令和2年度決算では33億円の赤字となり、令和4年度につきましても、一定の回復は見込まれるものの4億円の赤字となる見込みです。